

経営発達支援計画の概要

実施者名	阿哲商工会
実施期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日
目標	<p>小規模事業者の事業計画作成を通じて、変化する経営環境への対応と企業の持続的発展を支援し、経営力向上や海外展開を含む販路拡大、事業規模の拡大による雇用の創出を図る。また、創業支援・事業承継支援を行い、新見市の未来を背負う経営者を育成していくことにより、地域を支える企業の増加、I・Uターン起業による新たな産業の創造を図る。</p> <p>さらに、中期的な取り組みとして6次産業化支援を行い、「アグリカルチャーからアグリビジネスへ」を目指し、地域の特色を活かした新たな事業創出と地域資源を活用した商品開発と販路開拓の支援などを行う。</p>
事業内容	<p><u>I. 経営発達支援事業の内容</u></p> <p>1. 地域の経済動向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の経済動向に関する分析結果を取り纏めた資料を作成し、管内小規模事業者に提供するとともに、事業計画策定時に活用。</li> </ul> <p>2. 経営状況の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回・窓口相談をはじめ、事業者とのあらゆる関わりを通じて経営資源や特徴を掴み、「事業価値を高める経営レポート」作成を行う。</li> </ul> <p>3. 事業計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画策定の必要性の周知と、経営の持続的発展を実現し新たな需要の獲得に必要な事業の再構築を図るための事業計画策定支援。</li> <li>創業を図る企業や、創業間もない（5年未満）企業の育成と基盤強化を図るため、他の支援機関等と連携して創業塾を開催。</li> </ul> <p>4. 事業計画策定後の実施支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よろず支援拠点、県産業振興財団、県連合会をはじめとした地域の中小企業支援機関及び金融機関等と連携しながら、伴走型の支援・助言を行う。</li> <li>小規模事業者経営発達支援融資事業を活用して金融面での支援を図る。</li> <li>創業後も販路開拓支援や記帳指導の強化などにより、伴走型の支援を実施。</li> <li>地域資源を活用した新たな産業の創出を図るため、6次産業化に取り組む農業者の相談・支援を行う。</li> </ul> <p>5. 需要動向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の取り扱う商品・役務の需要動向について取り纏めた資料を作成し提供。</li> <li>地域資源を活用した商品や役務に関する需要動向情報を収集・分析し、展示会・商談会への出展者に情報提供して販路開拓支援を行う。</li> </ul> <p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化に取り組む事業者の販路開拓・商品認知度向上を支援する。</li> <li>各機関が実施する海外展開を含む展示・商談会・セミナーへの参加・出展支援及びダイレクトマーケティングに関するセミナーの実施。</li> <li>小規模事業者持続化補助金の積極的な活用推進と、販路開拓の取り組みを支援。</li> </ul> <p><u>II. 地域経済の活性化に資する取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集客による地域活性化を目的とするイベントの開催。</li> <li>地域住民の生活を支援するコミュニティビジネスの推進。</li> <li>A級食材のブランド化や地域資源を活用した特産品開発支援。</li> </ul>
連絡先	阿哲商工会 岡山県新見市神郷下神代 4898 番地 9 TEL 0867-92-6103 <a href="https://www.atetsu.net/">https://www.atetsu.net/</a>

## 【事業の成果・評価・見直しの結果等（平成29年度実績）】

### I. 経営発達支援事業の内容

#### 1. 地域の経済動向調査

達成度	達成・未達成の要因
H27年度に作成した、経済動向調査の概要版を、商工会の総会、理事会、各種セミナーで配布し、事業計画策定の啓発活動を行った。その結果、事業計画策定件数は平成27年37件、平成28年29件、平成29年42件で合計108件行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継セミナー、販路開拓セミナー、各種補助金の活用により、事業計画作成事業者が順調に増加している。</li> </ul>
	<p>主な今後の予定・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに実効性のある提案を行っていくためには、従来のものに加え個々の業種に合った動向調査の必要がある。今年度実施した住民アンケートの結果を取り纏め、それを元に事業計画策定に向けた提案ができる資料の作成に努めたい。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的には「個者支援」と「支援する商工会の体制づくり」が基本にある。地域経済動向調査は経営指導員が個社支援を行うにあたり、客観的な情報をもとに支援を行うためにも必要である。</li> <li>・地域の詳細な動向をつかみ、個者支援を効果的に行うためには、現在実施している住民アンケートの活用は有効である。</li> <li>・統計データやアンケートを参考に地域経済全体の方向をつかみ、大きな視点・客観的な視点をもって個社の支援を行ってほしい。</li> <li>・地域経済動向調査にあたっては、個社支援への活用の観点から、阿哲地域の情報を詳細に調べるだけでなく、小規模事業所の商圏範囲や県、近隣市町村の動向比較を含めた広い目で情報提供を行うことも検討する。</li> </ul>	

#### 2. 経営状況の分析

達成度	達成・未達成の要因																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模支援会計momo利用者</td> <td>79</td> <td>70</td> <td>81.4%</td> </tr> <tr> <td>経営状況登録事業者</td> <td>205</td> <td>211</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>経営レポート作成件数</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	H28年度	H29年度	達成度	小規模支援会計momo利用者	79	70	81.4%	経営状況登録事業者	205	211	96.0%	経営レポート作成件数	12	16	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続化補助金のヒアリングにより現状把握が進んでいるため、経営レポート作成までスムーズに進む。</li> <li>・目標としている件数には届いていない。引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。</li> </ul>
支援内容	H28年度	H29年度	達成度														
小規模支援会計momo利用者	79	70	81.4%														
経営状況登録事業者	205	211	96.0%														
経営レポート作成件数	12	16	80.0%														
	<p>主な今後の予定・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者の経営基盤の強化が喫緊の課題でもあるので、そこに繋がるような支援を行っていく。</li> </ul>																
有識者会議における今後の見直し等に関する意見																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営状況の分析は、地域の企業の現状把握と個者の指導に活かすことが目的である。個社への提供や情報を活かした経営改善への取組への活用の他、全体的に分析した後に商工会内部で、当該年の全体的な経営状況・業況・業績等を評価する仕組み作りを検討する。今後の支援の方針を検討するにあたって、地域の業況を知ることが、極めて有効である。</li> <li>・経営計画策定企業へ向けて、売上額や取引先の増減などを調査するアンケートを行っており、経営計画実行での実際の取組後の動向が把握できると思う。昨年と比較して業績が向上した会社は何社あるとか地域の所得総額がいくらかなど指導の成果がわかるようになり、更にそれらを分析し活用するよう行っていきたい。</li> <li>・公表できる範囲で経営計画策定・実行の業績への好影響を知らせていくことで、一層、経営計画策定の意欲向上を図ることもできる。フォローアップの重要性も再認識できると思う。</li> </ul>																	

### 3. 事業計画の策定支援

達成度				達成・未達成の要因																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー・説明会開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数</td> <td>29</td> <td>42</td> <td>168.0%</td> </tr> <tr> <td>うち経営レポート作成件数</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>				支援内容	H28年度	H29年度	達成度	セミナー・説明会開催回数	2	2	100.0%	事業計画策定事業者数	29	42	168.0%	うち経営レポート作成件数	12	16	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き持続化補助金の活用提案がうまくいき、想定以上の取組があった。</li> <li>連携機関との情報共有もあり、創業者の支援に結びついている。</li> <li>経営レポートの作成は、持続化補助金申請事業者を中心に実施予定で取り組む</li> <li>市の支援策の拡充もあり、取り組む事業所が増加してきている。</li> <li>これまで補助金等を活用した企業ばかりでなく、新たな支援企業の掘り起こしに注力し、その結果が順調な実績に結びついている。補助金に関しては採択されなかった案件も多いが、その取組の過程で経営計画策定が出来てきているので、良い傾向にあると考えている。</li> </ul>				
支援内容	H28年度	H29年度	達成度																					
セミナー・説明会開催回数	2	2	100.0%																					
事業計画策定事業者数	29	42	168.0%																					
うち経営レポート作成件数	12	16	80.0%																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業塾開催回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>創業セミナーの開催</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>創業支援者数</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td>第2創業（経営革新）支援者数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>150.0%</td> </tr> </tbody> </table>				支援内容	H28年度	H29年度	達成度	創業塾開催回数	1	1	100.0%	創業セミナーの開催	1	2	100.0%	創業支援者数	5	6	120.0%	第2創業（経営革新）支援者数	3	6	150.0%	<p style="text-align: center;"><b>主な今後の予定・改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな支援先の掘り起こしがうまくいっている。この経験を来年度にも活かしていく。</li> <li>今年度、広域サポートセンターとの連携による支援の成果が出てきているので、引き続き連携を密にとって支援を行っていく。</li> </ul>
支援内容	H28年度	H29年度	達成度																					
創業塾開催回数	1	1	100.0%																					
創業セミナーの開催	1	2	100.0%																					
創業支援者数	5	6	120.0%																					
第2創業（経営革新）支援者数	3	6	150.0%																					
<b>有識者会議における今後の見直し等に関する意見</b>																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>よく取り組まれている。今後は補助金申請書だけでなく、経営革新計画や経営力向上計画の策定等のより上を目指すという意味でステップアップを目指して欲しい。</li> <li>目標とおり支援対象者をしぼり巡回され実績につながっている。引き続き行ってください。次年度はどのあたりに重点を当ててやっていくか内部で協議して進めて行ってください。</li> <li>事業計画のステップアップの話もあったが、課題に応じた経営計画の策定への支援を行っていくことが方向性だと思う。</li> <li>多くの事業所への経営計画策定支援を行っており、このノウハウを県内商工会へノウハウ移転することも検討したい。</li> </ul>																								

### 4. 事業計画策定後の実施支援

達成度				達成・未達成の要因								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周知によるフォローアップ件数</td> <td>58</td> <td>75</td> <td>93.8%</td> </tr> </tbody> </table>				支援内容	H28年度	H29年度	達成度	周知によるフォローアップ件数	58	75	93.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の集中配置による業務効率の改善もあり、チームによるサポート件数の増加など効果的な指導が出来ている。</li> <li>ホームページをリニューアルし、フェイスブックを連動させリアルタイムで情報発信を行った事で、幅広い層への周知を行う事ができ、件数に繋がった。</li> </ul>
支援内容	H28年度	H29年度	達成度									
周知によるフォローアップ件数	58	75	93.8%									
<p style="text-align: center;"><b>主な今後の予定・改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の経営基盤の強化を目標に、事業者に応じた提案を行っていく。</li> <li>この取組で基盤強化を実現した事業者の先事例を造り、後に続く事業者のモデルとしていく。</li> <li>引き続き多頻度の情報発信に努める。</li> <li>事業者の経営計画内容に応じたサポート（内容・頻度）を継続していく。</li> </ul>												

有識者会議における今後の見直し等に関する意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップが一番大事なので次年度も力を入れてやっていただきたい。計画を取ったらどのように実行していくかということをお事業者さんと一緒になって考えて、毎月定期的に訪問するなど、そのあたりを更に力を入れて行ってほしい。</li> <li>・商工会の個人支援は成果を表に出しにくいところがあったが、支援を行った成果がどうなのか、支援を行った結果、取引先が何社ぐらい増えて、その売上が全体の売上の何%になるのかとか、今後事業の継続の見通しがついたなど、そのあたりまで言えるような成果の確認をしていかないといけない。</li> <li>・事業者からの質問や、提案時などでこういう事例があるよと提示できるようなフォローアップと事例の蓄積を意識して行っていただきたい。</li> </ul>

## 5. 需要動向調査

達成度	達成・未達成の要因
今年度の展示会・商談会への出展事業者22社に情報提供を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓セミナーや個別の提案により掘り起しが出来ている。</li> <li>・創業者・第二創業者に対しても、随時情報提供を行っている。</li> <li>・これまでの支援の経験から事業者には有益だと思われる展示会・商談会をピックアップし、参加を勧める提案が出来ている。</li> </ul>
	主な今後の予定・改善点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に表面的な需要を知ることだけではなく、なぜ需要が増加しているのかといった背景要因などを把握し指導を図っていく。</li> <li>・販売戦略、事業戦略の策定を支援していく。</li> <li>・情報発信を行うため RESAS や・J-GoodTech (ジエグテック) の情報を会員で共有して有効な活用が図れるように取り組む。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き幅広い情報収集→分析→情報提供を行ってください。</li> <li>・専門家を活用しサポートがよく出来ている。</li> </ul>	

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

達成度				達成・未達成の要因												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容</th> <th style="text-align: center;">H28年度</th> <th style="text-align: center;">H29年度</th> <th style="text-align: center;">達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路拡大セミナーの実施</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>展示会出展支援者数</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </tbody> </table>			支援内容	H28年度	H29年度	達成度	販路拡大セミナーの実施	1	1	100.0%	展示会出展支援者数	14	22	100.0%	<p>出展に向けた準備. 購買側から見た魅力の訴求. 訴求ポイントの磨き方. 展示ブースの効果的な活用. より良いプレゼンテーションの実施. 成果獲得に向けた事後フォローにより、取引拡大の成果が出始めている。</p> <p>海外展開においても少しずつだが、新規取引が出来ているので、成功事例を参考に展示支援等を行っていく。</p> <p>同行支援が二年目になり、前年のノウハウを有効に活用出来ている。</p>
支援内容	H28年度	H29年度	達成度													
販路拡大セミナーの実施	1	1	100.0%													
展示会出展支援者数	14	22	100.0%													

	<p>主な今後の予定・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発においてその企画段階から専門家も交えてサポートを行い、販路を見越した商品開発に向けた事業計画の策定をサポートする。</li> <li>・伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、セミナー・個別相談を通じて事業者が取り組む販路開拓を支援する。</li> </ul>
<p>有識者会議における今後の見直し等に関する意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会出展支援など県内では比較的先進的な取り組みを行っている。今後も積極的な支援を期待したい。</li> <li>・個社支援にあたって、産業振興財団などの他機関もバイヤーを一生懸命呼んできているので、これらの機会を上手に活用していけばいいと思う。</li> <li>・事業者においては、ホームページを上手に使われているところがまだまだ少ないと思う。ホームページ・SNSの指導の方も力を入れてください。</li> <li>・域外の需要開拓における具体的な成果を取りまとめ、支援効果の評価がしやすいようにしたい。</li> </ul>	

## II. 地域経済の活性化に資する取り組み

達成度				達成・未達成の要因	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・商工団体間での情報共有が進み、支援制度の充実に繋がっている。</li> <li>・かねてから行政と協議していた産業フェアが11月に開催され、各会員の認知度向上のため出展サポートや展示ブースのアドバイスをを行うなどして、認知度の向上と、市内外へのPRを行い来場者の増加を図った。</li> </ul>	
支援内容	H28年度	H29年度	達成度	主な今後の予定・改善点	
A級グルメフェア-出店社数	8	7	58.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一した推奨特産品を市を挙げて分かりやすい戦略を立て、認知度向上につながる取り組みを行う。</li> <li>・引き続き市内外から集客を図るイベントの活用をする。</li> <li>・参加企業の支援を継続して行っていく。</li> <li>・新見市の土産物開発支援事業の周知を図り、地域資源等を活用した新規商品開発や既存商品のブラッシュアップを支援していく。</li> </ul>	
まちづくり委員会開催数	1	3	100.0%		
イベント開催数	4	4	100.0%		
情報交換会議の開催	10	12	400.0%		
コミュニティサービスに み参加企業数	25	25	83.4%		
有識者会議における今後の見直し等に関する意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間（例えば新見・高梁）連携の議論を地域活性化の中で取り上げ活性化に繋げて欲しい。</li> <li>・行政を含め観光振興を強化していることから、観光振興をテーマとした取り組みや進捗状況の把握を今後追加して欲しい。</li> </ul>					